

提案された木工教材

製作した生徒が愛着を持てるように、また、地域の森林、林業、木材産業のことも考える機会になるよう、道産木材ということにこだわって教材を提案しました。

Sapporo

札幌の教材

札幌では、南幌町の広教資材(株)の協力を得て、道産間伐材のトドマツを用いた「折り畳みいす」、「風呂用いす」、「CDラック」と、道南スギを用いた「ミニちゃぶ台」を提案しました。



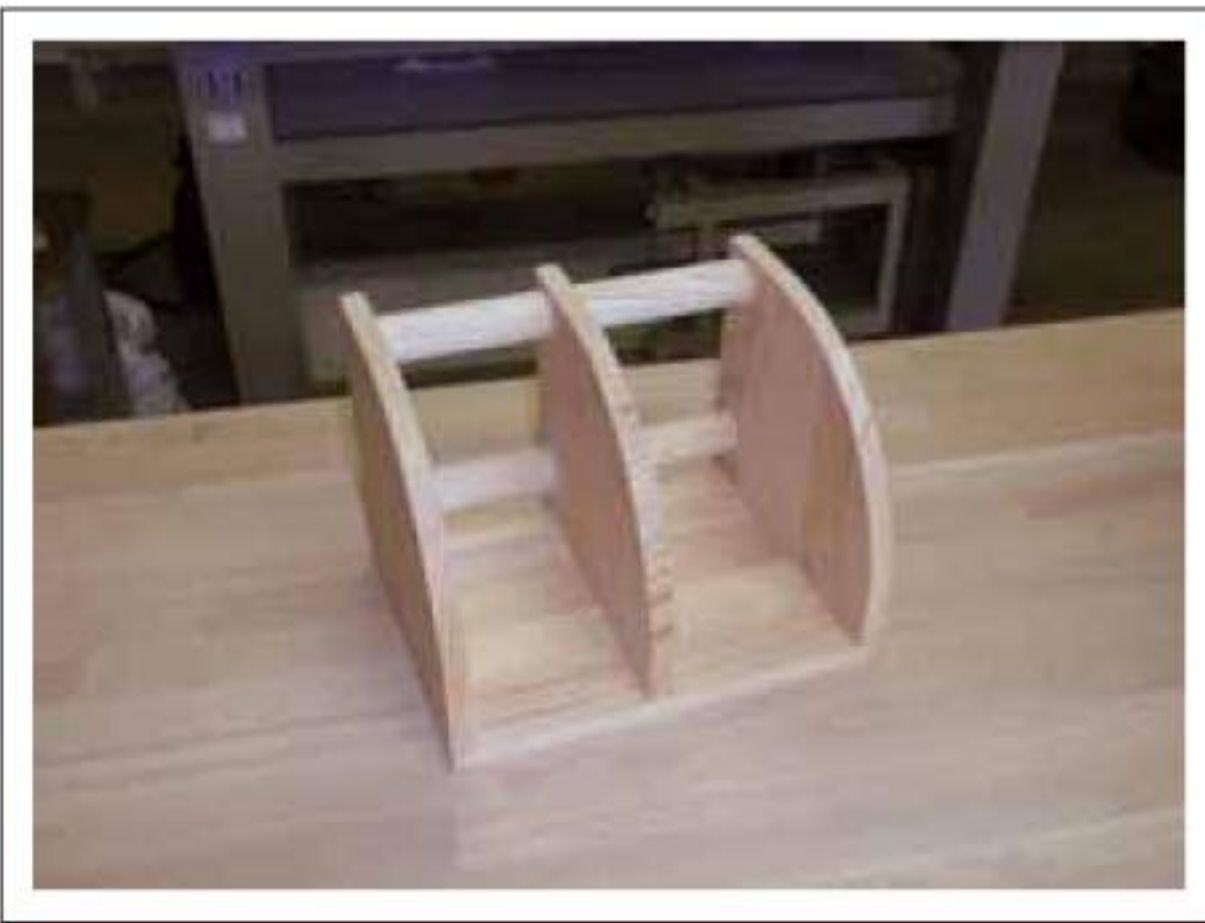
折り畳みいす

先生方に試作してもらい、その意見を踏まえて改善を重ねました。



風呂用いす

縦挽きの工程を取り入れたり、必要に応じてカンナ掛けを組み込めることが先生に好評でした。



CDラック

平成20年度は、製作時間に幅を持たせた製品を3つ提案しました。短い時間でも木工をという意見に対応し、比較的短い時間で製作できるのがこのCDラックです。



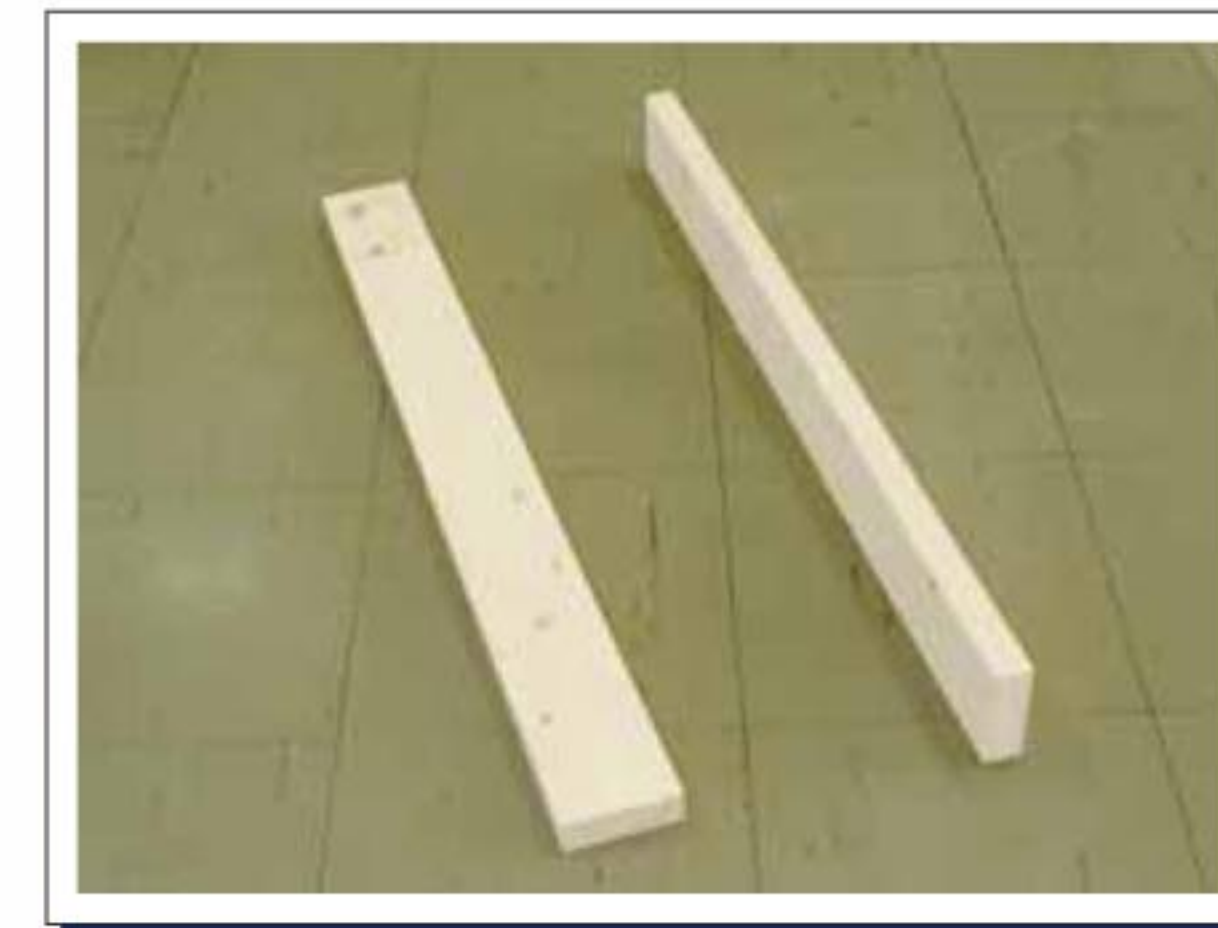
ちゃぶ台

道南スギをうまく使ったちゃぶ台を提案しました。完成度が高く、スギの見た目もきれいで好評でした。



旭川の教材

旭川では、普段、ツーバイフォー部材を活用して授業展開している学校を想定し、道産トドマツの製材を提案しました。地元の製材工場である(株)斉藤木工所の協力をいただきました。



道産トドマツ製材 道産のトドマツを用いた製材は、サイズを30mm×90mm×900mmとしました。ツーバイより精度が高く、加工しやすく、大変好評でした。

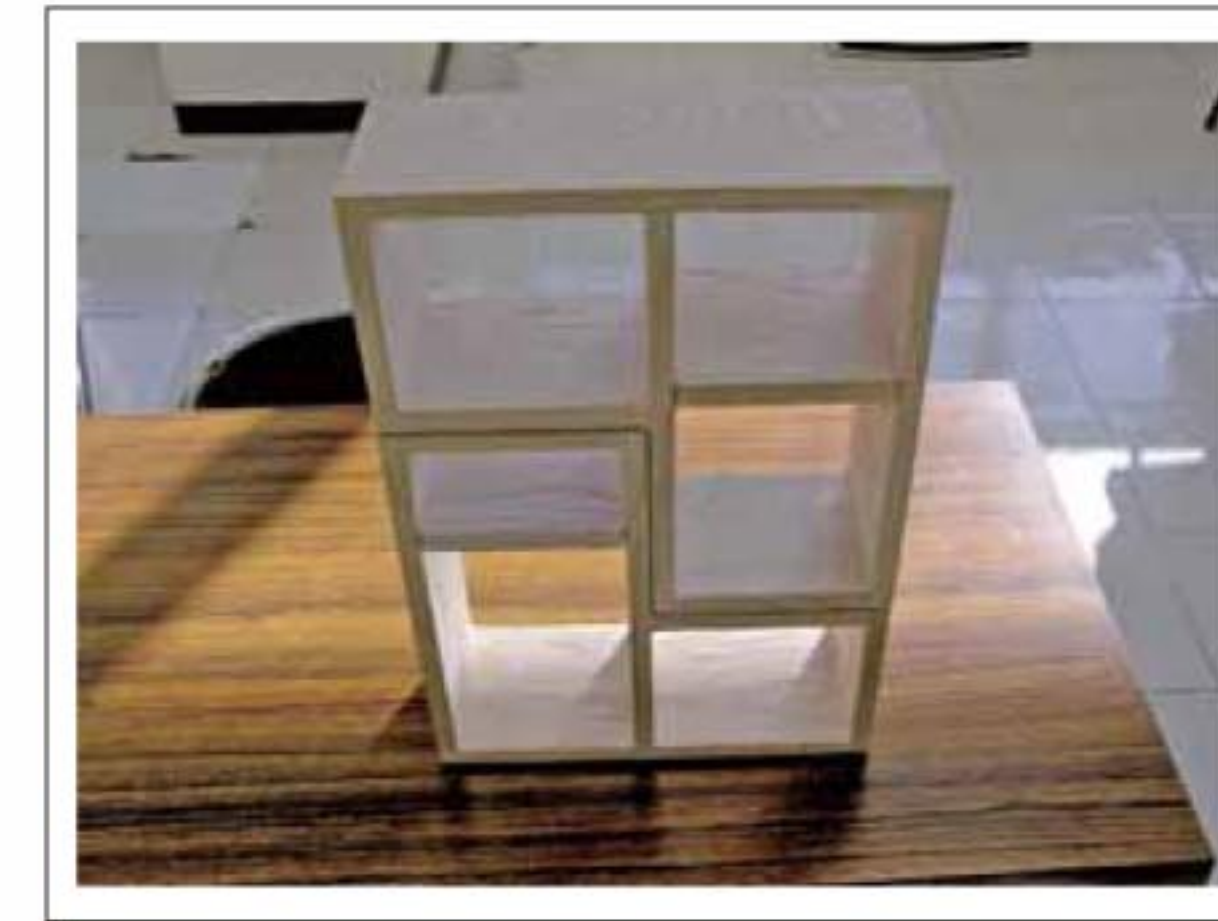


釧路支庁管内の教材

釧路では、センやカツラなどの道産広葉樹の「プチタンス」、「ラック」、「本棚」を提案しました。白糠町タケダ産業(株)の協力をいただきました。



プチタンス



セパレートラック



本棚

セン、カツラを使った広葉樹のキットを3種類提案しました。技術の専科の先生が少ない地域の中学校では、キット化された教材を使うことも多いですが、その場合でも、道産木材を採用した教材はたくさんあり、それらを使うことで、生徒に地域の森林や林業を学ばせる授業を展開することが出来ます。